

平成28年 省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号：LXEC-1607

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）：DWG016

作成：2017年5月8日

更新：2020年10月30日

株式会社LIXIL

サッシ・ドア事業部 ドアSBU

※1.各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

- ①「建具とガラスの組み合わせに」による熱貫流率
- ②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2.試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に基づく代表試験体の熱貫流率です。
代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づきます。

外部物置ドア

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/ (m ² K)]	開口部の熱貫流率 [W/(m ² K)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1	
					遮蔽物無し	風除室あり	遮蔽物無し	風除室あり	①	②
枠：金属製熱遮断構造 戸：金属製断熱フラッシュ構造	k2仕様 11型	片開き	ドア本体：—	—	1.74	1.49	0.06	0.05		○
枠：金属製熱遮断構造 戸：金属製ハニカムフラッシュ構造	k3仕様 11型	片開き	ドア本体：—	—	2.66	2.11	0.09	0.07		○
枠：金属製又はその他 戸：金属製ハニカムフラッシュ構造	k4仕様 11型	片開き	ドア本体：—	—	2.80	2.19	0.10	0.07		○